

スブタ

Blyxa ceratosperma Maxim.

トチカガミ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

従来は普通に見られたが1960年代以降急減し、稀産の植物となった。(現況:VO)

形態

県内にはほかに同属のヤナギスブタのみが分布するが、これとの相違点は本種では茎がきわめて短かく、葉のほとんどは根生することにある。種子の両端に長い尾状突起がある。

国内分布

本州、四国、九州に分布。アジア東部、インド、スリランカ、オーストラリアと広い分布域をもつ。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、南加賀の南加賀区。口能登・加賀中央部の一部にも分布するという。

生態など

沈水性の水草で一年生植物、浅い水中に生育。種子で繁殖する。

生育環境

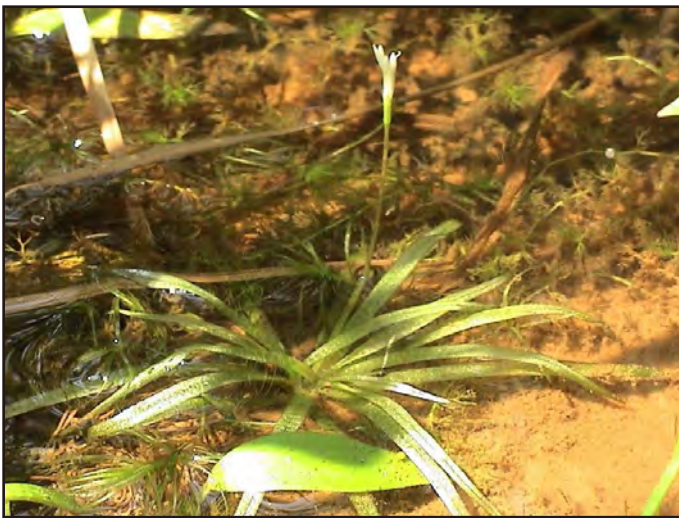
もとは水田雑草の一種で、水田や溝に生育したが、乾田化と除草剤の使用で激減した。現在は除草剤のかからない湿地、休耕田、溝など限られた環境にのみ生育。

危険要因

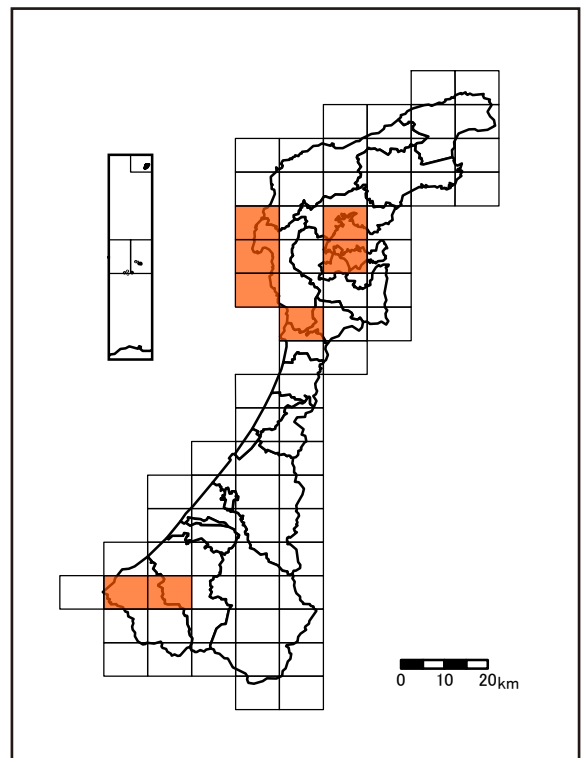
かつては除草剤(農薬汚染)や乾田化がおもな危険要因であったが、現在は湿地開発や自然遷移が脅威。

特記事項

県内には、マルミスブタ *B. aubertii* Rich. を産する。同種の分布は外浦区、中能登区、南加賀区から報告されている。しかし、本種の確実な区別は、果実がないと困難なので本調査のような場合には同定に制約があり、今回は取り上げなかった。



白井伸和・2002年2月23日



県内の分布